

製品名: α 平滑筋アクチン (3G2) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03593**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	ACTA2
別名	ACTA2; ACTSA; ACTVS; GIG46; Actin; aortic smooth muscle; Alpha-actin-2; Cell growth-inhibiting gene 46 protein; α -SMA
遺伝子 ID	59
SwissProt ID	P62736
免疫原	α -SMA の合成ペプチド

背景

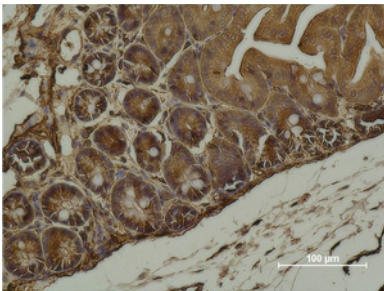
プラークタンパク質と細胞間接着を媒介する中間径フィラメントの相互作用に関与する。ACTA2 の欠損は、家族性胸部大動脈瘤 6 型

(AAT6) [MIM:611788]の原因である。ACTA2 の欠損は主に、「中膜壊死」または「エルドハイム嚢胞性中膜壊死」として知られる特徴的な組織学的所見を伴い、弾性線維の変性と断片化、平滑筋細胞の喪失、好塩基性基質の蓄積がみられる。

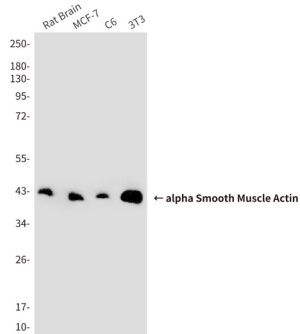
研究分野

シグナル伝達

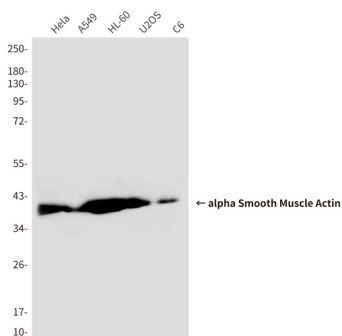
画像データ



α 平滑筋アクチン (3G2) 抗体を使用したパラフィン包埋マウス盲腸組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



ラット脳、MCF-7、C6、3T3 ライセート中の α 平滑筋アクチン中の α 平滑筋アクチン (3G2) 抗体を用いたウェスタンブロット分析



Hela、A549、HL60、U2OS、C6 ライセート中の α 平滑筋アクチン (3G2) 抗体を用いたウェスタンブロット分析